

# Cisco Identity Services Engineにおける任意のクライアント証明書作成の脆弱性



アドバイザリーID : cisco-sa-20190515-ise- [CVE-2019-1851](#)  
certcreation

初公開日 : 2019-05-15 16:00

バージョン 1.0 : Final

CVSSスコア : [6.8](#)

回避策 : No workarounds available

Cisco バグ ID : [CSCvm81230](#)

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

## 概要

Cisco Identity Services Engine(ISE)のExternal RESTful Services(ERS)APIの脆弱性により、認証されたりモートの攻撃者が、ISEの内部認証局(CA)サービスによって署名された任意の証明書を生成できる可能性があります。

この脆弱性は、ロールベースアクセスコントロール(RBAC)の不適切な実装に起因します。攻撃者は、管理資格情報を使用して特定のHTTP要求を巧妙に細工することで、この脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトに成功すると、攻撃者は任意の属性を持つISE CAによって署名され信頼される証明書を生成できる可能性があります。攻撃者は、この証明書を使用して、証明書認証によって保護されている他のネットワークまたは資産にアクセスする可能性があります。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザリーは、次のリンクより確認できます。

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190515-ise-certcreation>

## 該当製品

### 脆弱性のある製品

この脆弱性は、ERS APIが有効になっているCisco ISEの導入に影響を与えます。該当するソフトウェアリリースの詳細については、このアドバイザリーの冒頭にあるCisco Bug IDを参照してください。

## 脆弱性を含んでいないことが確認された製品

このアドバイザリの[脆弱性のある製品セクションに記載されている製品のみが、この脆弱性の影響を受けることが分かっています。](#)

## 詳細

影響を受けるのは、ERS APIが有効になっているCisco ISE導入だけです。ERS APIはデフォルトで無効になっています。

## 回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

## 修正済みソフトウェア

修正済みソフトウェア リリースの詳細については、本アドバイザリ上部の Cisco Bug ID を参照ください。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[シスコのセキュリティアドバイザリおよびアラート ( Cisco Security Advisories and Alerts ) ] ページで入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレード ソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成が新規リリースで引き続き正しくサポートされていることを十分に確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center ( TAC ) もしくは契約しているメンテナンスプロバイダーにお問い合わせください。

## 不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team ( PSIRT ) は、本アドバイザリに記載されている脆弱性の不正利用事例やその公表を確認していません。

## 出典

この脆弱性は Cisco TAC サポートケースの解決中に発見されました。

## URL

<https://sec.cloudapps.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20190515-ise-certcreation>

## 改訂履歴

バージョン	説明	セクション	ステータス	日付
1.0	初回公開リリース	—	Final	2019年5月15日

## 利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。